

大学院 学修の成果に係る評価基準

成績の評価について

成績は、S・A・B・C、F・K・X、W・Iで表します。S・A・B・Cを合格とし、F・K・Xを不合格とします。その他、履修の取り消しを表す「W」と評価の保留を表す「I」があります。

なお、不合格科目は成績証明書には記載されません。

修得した科目の成績を取り消すことはできません。また、成績結果によって修得しなおすこともできません。

〈成績の評価〉

評価 ※ 1	評語 ※ 2	評価基準	合否
S	S	1 0 0 点～9 0 点	合格
A	A	8 9 点～8 0 点	
B	B	7 9 点～7 0 点	
C	C	6 9 点～6 0 点	
F	F	5 9 点以下	不合格
	K	欠席回数は授業回数の 1/3 未満だが、試験を欠席	
	X	欠席回数が授業回数の 1/3 以上	
※ 1 学則で定める評価			
※ 2 『勉天』上の記載評価			

GPA について

本学では成績評価に GPA 制度を導入しています。GPA (Grade Point Average) は履修科目の1単位当りの成績平均点を求めたもので、その制度の目的と仕組みについて以下のように定めています。みなさんは自分の GPA を意識してしっかりした学習計画を立てるように心がけましょう。GPA は、履修管理・履修指導・質保証への活用のほか、本学の奨学金等の対象者の選考にも利用されます。

本学における GPA 制度の目的は次の通りです。

- ① 学生自身による適正な履修管理を徹底する。
取得単位数だけでなく、GPA により成績評価も重視する必要があります。GPA 制度では、不合格の科目は GP が「0.0」となり、GPA が下がります。「とりあえず履修登録する」などの行動は控え、しっかりした学習計画を立てて履修登録しましょう。
- ② 教員による学生の履修指導をより効果的に行う。
GPA による成績評価を基に教員はみなさんの学業状況を客観的かつ正確に把握でき、履修指導を効果的に行うことができます。
- ③ 教育・修了の質保証に対する社会的な説明責任を果たす。
成績の5段階評価により、単なる単位数による評価に比べて、より信頼できる学修成果の評価が可能となり、また、みなさんの学習態度の改善にも結びつき、結果的に教育・修了の質保証に対する社会的な説明責任を果たすことができます。

GPA とは次表の評価基準に基づく5段階成績評価（合格：S, A, B, C および不合格：F）による科目の成績をグレードポイント（GP）により点数化した上で、履修科目の1単位当りの成績平均点を求めたものをいいます。

授業科目の成績評価とグレードポイント（GP）

区分		評価	評価基準	GP	評価内容
GPA 対象	合格	S	100～90 点	4.0	特に優れている
		A	89～80 点	3.0	優れている
		B	79～70 点	2.0	良好である
		C	69～60 点	1.0	最低基準を満たしている
	不合格	F	59 点以下	0.0	最低基準に達していない 【『勉天』上ではF表記】
			試験欠席		【『勉天』上ではK表記】
			授業時数の 1 / 3 以上を欠席		【『勉天』上ではX表記】
GPA 対象外		T	単位認定科目	-	他大学等で修得した単位の認定
I：保留 (Incomplete)		追試験対象の学生が病気等によって追試験を受験（試験に代わるレポート等の提出を含む）できず、成績入力期限に間に合わない場合。			
W：履修登録取消 (Withdrawal)		長期の病気等によって、履修登録訂正期間内に登録取り消しができなかった場合、または訂正期間以降登録科目の受講が困難になった場合。履修登録取消の科目はG P Aの対象外です。			

GPA は、以下の通り、グレードポイント（GP）と当該単位数による計算式で求め、分母の総履修登録単位数には不合格科目の単位数も算入されます。GPA は学期ごとの GPA と累積の GPA を求めます。『勉天』上には学期 GPA と累積 GPA が記載され、成績証明書（学外への証明書）には累積 GPA が記載されます。

$$\text{GPA} = \frac{4.0 \times \text{S 取得単位数} + 3.0 \times \text{A 取得単位数} + 2.0 \times \text{B 取得単位数} + 1.0 \times \text{C 取得単位数}}{\text{総履修登録単位数} - \text{GPA 対象外履修登録単位数}}$$

- ※ 1：GPA は小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位までの数値で表します。
 ※ 2：不合格科目を再履修した場合、再履修の評価が前の評価（F）に上書きされ、上書きされる前の当該単位数は総履修登録単位数から除外されます。

GPA の対象となる科目は、原則として、単位認定科目を除く科目とします。

〈GPA の計算例〉
GPA 対象である 4 科目の評価が「科目◎◎」（2 単位）は S、「科目○○」（2 単位）は A、「科目△△」（1 単位）は C、および「科目▲▲」（2 単位）は F の場合、GPA は以下のように計算されます。 $\text{GPA} = \frac{4.0 \times 2 + 3.0 \times 2 + 2.0 \times 0 + 1.0 \times 1}{2 + 2 + 1 + 2 - 0} = \frac{15.0}{7} = 2.14$ 不合格の「科目▲▲」の単位数も分母に算入されますので、GPA はその分低くなります。履修計画をしっかり立て、登録した科目は必ず単位を修得できるよう授業に集中してください。

単位の授与について

次の条件を満たせば、所定の単位が授与されます。

- 履修登録が行われていること。
- 当該科目の評価が合格点に達していること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

物理学専攻《博士前期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	基礎物理学 分野	素粒子論特論 A	選択	2	1	○	
			素粒子論特論 B	選択	2	1	○	
			素粒子論演習 A	選択	2	1	○	
			素粒子論演習 B	選択	2	1	○	
			素粒子論演習 C	選択	2	2	○	
			素粒子論演習 D	選択	2	2	○	
			統計物理学特論 A	選択	2	1	○	
			統計物理学特論 B	選択	2	1	○	
			統計物理学演習 A	選択	2	1	○	
			統計物理学演習 B	選択	2	1	○	
			統計物理学演習 C	選択	2	2	○	
			統計物理学演習 D	選択	2	2	○	
			原子分子物理特論 A	選択	2	1	○	
			原子分子物理特論 B	選択	2	1	○	
			原子分子物理演習・実験 A	選択	2	1	○	
			原子分子物理演習・実験 B	選択	2	1	○	
			原子分子物理演習・実験 C	選択	2	2	○	
			原子分子物理演習・実験 D	選択	2	2	○	
		宇宙物理学 分野	宇宙物理学特論 A	選択	2	1	○	
			宇宙物理学特論 B	選択	2	1	○	
			宇宙物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			宇宙物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			宇宙物理学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			宇宙物理学演習・実験 D	選択	2	2	○	
			天体物理学特論 A	選択	2	1	○	
			天体物理学特論 B	選択	2	1	○	
			天体物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			天体物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			天体物理学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			天体物理学演習・実験 D	選択	2	2	○	
		物性物理学 分野	固体分子物性特論 A	選択	2	1	○	
			固体分子物性特論 B	選択	2	1	○	
			固体分子物性演習・実験 A	選択	2	1	○	
			固体分子物性演習・実験 B	選択	2	1	○	
			固体分子物性演習・実験 C	選択	2	2	○	
			固体分子物性演習・実験 D	選択	2	2	○	
			放射線計測学特論 A	選択	2	1		
			放射線計測学特論 B	選択	2	1		
			物性物理学特論 A	選択	2	1	○	
			物性物理学特論 B	選択	2	1	○	
			物性物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			物性物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			物性物理学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			物性物理学演習・実験 D	選択	2	2	○	
			ソフトマター物理特論 A	選択	2	1	○	
			ソフトマター物理特論 B	選択	2	1	○	
			ソフトマター物理演習・実験 A	選択	2	1	○	

		ソフトマター物理演習・実験 B	選択	2	1	○	
		ソフトマター物理演習・実験 C	選択	2	2	○	
		ソフトマター物理演習・実験 D	選択	2	2	○	

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	論文指導科目	物理学研究 1	必修	2	1		
		物理学研究 2	必修	2	1		
		物理学研究 3	必修	2	2		
		物理学研究 4	必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択：22 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 論文指導科目「物理学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※ 2. 「物理学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- ※ 3. 科目名に A、B、C、D を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

物理学専攻《博士後期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	基礎物理学 分野	素粒子論特別講義 A	選択	2	1	
			素粒子論特別講義 B	選択	2	1	
			統計物理学特別講義 A	選択	2	1	
			統計物理学特別講義 B	選択	2	1	
			原子分子物理特別講義 A	選択	2	1	
			原子分子物理特別講義 B	選択	2	1	
		宇宙物理学 分野	宇宙物理学特別講義 A	選択	2	1	
			宇宙物理学特別講義 B	選択	2	1	
			天体物理学特別講義 A	選択	2	1	
			天体物理学特別講義 B	選択	2	1	
		物性物理学 分野	固体分子物性特別講義 A	選択	2	1	
			固体分子物性特別講義 B	選択	2	1	
			放射線物理特別講義 A	選択	2	1	
			放射線物理特別講義 B	選択	2	1	
			物性物理学特別講義 A	選択	2	1	
			物性物理学特別講義 B	選択	2	1	
			ソフトマター物理特別講義 A	選択	2	1	
			ソフトマター物理特別講義 B	選択	2	1	
	論文指導科目		物理学特別研究 1	必修	2	1	
			物理学特別研究 2	必修	2	1	
			物理学特別研究 3	必修	2	2	
			物理学特別研究 4	必修	2	2	
			物理学特別研究 5	必修	2	3	
			物理学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20単位以上（必修：12単位、選択：8単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1. 論文指導科目「物理学特別研究 1～6」（必修）を含む20単位の修得が必要。
- ※2. 「物理学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に3年間で履修すること。
- ※3. 科目名に A、B を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

化学専攻《博士前期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	無機化学 分野	無機化学特論 A	選択	2	1	○	
			無機化学特論 B	選択	2	1	○	
			無機化学演習・実験 A	選択	2	2	○	
			無機化学演習・実験 B	選択	2	2	○	
			無機化学特論 C	選択	2	1	○	
			無機化学特論 D	選択	2	1	○	
			無機化学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			無機化学演習・実験 D	選択	2	2	○	
		有機化学 分野	有機化学特論 A	選択	2	1	○	
			有機化学特論 B	選択	2	1	○	
			有機化学演習・実験 A	選択	2	2	○	
			有機化学演習・実験 B	選択	2	2	○	
			有機化学特論 C	選択	2	1	○	
			有機化学特論 D	選択	2	1	○	
			有機化学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			有機化学演習・実験 D	選択	2	2	○	
		物理化学 分野	物理化学特論 A	選択	2	1	○	
			物理化学特論 B	選択	2	1	○	
			物理化学演習・実験 A	選択	2	2	○	
			物理化学演習・実験 B	選択	2	2	○	
		分析化学 分野	分析化学特論 A	選択	2	1	○	
			分析化学特論 B	選択	2	1	○	
			分析化学演習・実験 A	選択	2	2	○	
			分析化学演習・実験 B	選択	2	2	○	
		生化学 分野	生化学特論 A	選択	2	1	○	
			生化学特論 B	選択	2	1	○	
			生化学演習・実験 A	選択	2	2	○	
			生化学演習・実験 B	選択	2	2	○	
			生化学特論 C	選択	2	1	○	
			生化学特論 D	選択	2	1	○	
			生化学演習・実験 C	選択	2	2	○	
			生化学演習・実験 D	選択	2	2	○	
			生物物理特論 A	選択	2	1	○	
			生物物理特論 B	選択	2	1	○	
			生化学演習・実験 E	選択	2	2	○	
			生化学演習・実験 F	選択	2	2	○	
	論文指導科目	化学研究 1	必修	2	1			
		化学研究 2	必修	2	1			
		化学研究 3	必修	2	2			
		化学研究 4	必修	2	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択：22 単位以上）

○履修上の注意事項

※1. 論文指導科目「化学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。

- ※ 2. 「化学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- ※ 3. 「～演習・実験」は 2 年次に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

化学専攻《博士後期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	錯体化学特別講義 A	選択	2	1	
		錯体化学特別講義 B	選択	2	1	
		有機合成化学特別講義 A	選択	2	1	
		有機合成化学特別講義 B	選択	2	1	
		生物有機化学特別講義 A	選択	2	1	
		生物有機化学特別講義 B	選択	2	1	
		反応物理化学特別講義 A	選択	2	1	
		反応物理化学特別講義 B	選択	2	1	
		構造生物学特別講義 A	選択	2	1	
		構造生物学特別講義 B	選択	2	1	
		分子生物化学特別講義 A	選択	2	1	
		分子生物化学特別講義 B	選択	2	1	
		機能生物化学特別講義 A	選択	2	1	
		機能生物化学特別講義 B	選択	2	1	
		機能物性化学特別講義 A	選択	2	1	
		機能物性化学特別講義 B	選択	2	1	
		構造生物化学特別講義 A	選択	2	1	
		構造生物化学特別講義 B	選択	2	1	
	論文指導科目	化学特別研究 1	必修	2	1	
		化学特別研究 2	必修	2	1	
		化学特別研究 3	必修	2	2	
		化学特別研究 4	必修	2	2	
		化学特別研究 5	必修	2	3	
		化学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位以上（必修：12 単位、選択：8 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1. 論文指導科目「化学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。
- ※2. 「化学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。
- ※3. 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を原則設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

機械工学専攻《博士前期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	デザイン・ 加工分野	材料力学特論 A	選択	2	1	○	
			材料力学特論 B	選択	2	1	○	
			材料力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			材料力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			工業材料特論 A	選択	2	1	○	
			工業材料特論 B	選択	2	1	○	
			工業材料演習・実験 A	選択	2	1	○	
			工業材料演習・実験 B	選択	2	1	○	
			材料設計・強度学特論 A	選択	2	1	○	
			材料設計・強度学特論 B	選択	2	1	○	
			材料設計・強度学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			材料設計・強度学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			機械加工特論 A	選択	2	1		
			機械加工特論 B	選択	2	1		
			機械加工演習・実験 A	選択	2	1		
			機械加工演習・実験 B	選択	2	1		
		エネルギー・ 環境分野	燃焼工学特論 A	選択	2	1	○	
			燃焼工学特論 B	選択	2	1	○	
			燃焼工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			燃焼工学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			流体力学特論 A	選択	2	1	○	
			流体力学特論 B	選択	2	1	○	
			流体力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			流体力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			航空流体力学特論 A	選択	2	1	○	
			航空流体力学特論 B	選択	2	1	○	
			航空流体力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			航空流体力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			環境エネルギー変換特論	選択	2	1	○	
			環境エネルギー変換演習・実験 A	選択	2	1	○	
			環境エネルギー変換演習・実験 B	選択	2	1	○	
		システム・ 制御分野	機械力学特論 A	選択	2	1	○	
			機械力学特論 B	選択	2	1	○	
			機械力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			機械力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			人間工学特論	選択	2	1	○	
			振動工学特論	選択	2	1	○	
			人間工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			人間工学演習・実験 B	選択	2	1	○	
			ロボット工学特論 A	選択	2	1	○	
			ロボット工学特論 B	選択	2	1	○	
			ロボット工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
			ロボット工学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		数理工学 分野	応用数学特論 A	選択	2	1		
			応用数学特論 B	選択	2	1		
			機械数学特論	選択	2	1	○	

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	論文指導科目	機械工学研究 1	必修	2	1		
		機械工学研究 2	必修	2	1		
		機械工学研究 3	必修	2	2		
		機械工学研究 4	必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択：22 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 論文指導科目「機械工学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※ 2. 「機械工学研究 1～4」は、原則、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- ※ 3. 科目名に A、B を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

機械工学専攻《博士後期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	デザイン・加工分野	材料力学特別講義 A	選択	2	1	
			材料力学特別講義 B	選択	2	1	
			工業材料特別講義 A	選択	2	1	
			工業材料特別講義 B	選択	2	1	
			材料設計・強度学特別講義 A	選択	2	1	
			材料設計・強度学特別講義 B	選択	2	1	
			機械加工特別講義 A	選択	2	1	
			機械加工特別講義 B	選択	2	1	
		エネルギー・環境分野	エネルギー工学特別講義 A	選択	2	1	
			エネルギー工学特別講義 B	選択	2	1	
			環境エネルギー変換特別講義 A	選択	2	1	
			環境エネルギー変換特別講義 B	選択	2	1	
			流体力学特別講義 A	選択	2	1	
			流体力学特別講義 B	選択	2	1	
			航空流体力学特別講義 A	選択	2	1	
			航空流体力学特別講義 B	選択	2	1	
			内燃機関特別講義 A	選択	2	1	
			内燃機関特別講義 B	選択	2	1	
			熱力学特別講義 A	選択	2	1	
			熱力学特別講義 B	選択	2	1	
		システム・制御分野	ビークルダイナミックス特別講義 A	選択	2	1	
			ビークルダイナミックス特別講義 B	選択	2	1	
			人間工学特別講義 A	選択	2	1	
			人間工学特別講義 B	選択	2	1	
			ロボット工学特別講義 A	選択	2	1	
			ロボット工学特別講義 B	選択	2	1	
	論文指導科目	機械工学特別研究 1	必修	2	1		
		機械工学特別研究 2	必修	2	1		
		機械工学特別研究 3	必修	2	2		
		機械工学特別研究 4	必修	2	2		
		機械工学特別研究 5	必修	2	3		
		機械工学特別研究 6	必修	2	3		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位以上（必修：12 単位、選択：8 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 論文指導科目「機械工学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。
- ※ 2. 「機械工学特別研究 1～6」は、原則、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。
- ※ 3. 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

電気工学専攻《博士前期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	基礎・共通	電気・電子回路学特論 A	選択	2	1	○	
			電気・電子回路学特論 B	選択	2	1	○	
			電気磁気学特論 A	選択	2	1	○	
			応用電気数学特論 A	選択	2	1	○	
			応用電気数学特論 B	選択	2	1	○	
			応用電気電子工学総論	選択	2	1	○	
			電気工学特論 A	選択	2	1	○	
			電気工学特論 B	選択	2	1	○	
		専門・応用	パワーエレクトロニクス特論	選択	2	1	○	
			電力工学特論	選択	2	1	○	
			電気機器学特論	選択	2	1	○	
			制御工学特論	選択	2	1	○	
			宇宙システム工学特論	選択	2	1	○	
			情報通信工学特論 A	選択	2	1	○	
			情報通信工学特論 B	選択	2	1	○	
			電磁波工学特論	選択	2	1	○	
			マイクロ波工学特論	選択	2	1	○	
			物性工学特論	選択	2	1	○	
		電子デバイス工学特論	選択	2	1	○		
		演習・ 実験授業	社会インフラシステム演習・実験	選択	2	1	○	
			エネルギーストレージ工学演習・実験	選択	2	1	○	
			電力工学演習・実験	選択	2	1	○	
			制御工学演習・実験	選択	2	1	○	
			先進電磁波動工学演習・実験	選択	2	1	○	
			先進電磁材料工学演習・実験	選択	2	1	○	
			超電導工学演習・実験	選択	2	1	○	
			低温工学演習・実験	選択	2	1	○	
			通信情報工学演習・実験	選択	2	1	○	
			視覚情報工学演習・実験	選択	2	1	○	
			映像情報工学演習・実験	選択	2	1	○	
			ナノテクノロジー演習・実験 A	選択	2	1	○	
		ナノテクノロジー演習・実験 B	選択	2	1	○		
	論文指導科目	電気工学研究 1	必修	2	1			
		電気工学研究 2	必修	2	1			
		電気工学研究 3	必修	2	2			
		電気工学研究 4	必修	2	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択：22 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1. 論文指導科目「電気工学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※2. 「電気工学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- ※3. 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

電気工学専攻《博士後期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	基礎・共通		応用電気電子工学特別講義	必修	2	1	
			社会インフラシステム特別講義	選択	2	1	
	電力・ 制御工学		エネルギーストレージ工学特別講義	選択	2	1	
			電力工学特別講義	選択	2	1	
			制御工学特別講義	選択	2	1	
			低温工学特別講義	選択	2	1	
			電気工学特別講義 A	選択	2	1	
			電気工学特別講義 B	選択	2	1	
	情報・ 通信工学		宇宙システム工学特別講義	選択	2	1	
			視覚情報工学特別講義	選択	2	1	
			映像情報工学特別講義	選択	2	1	
	物性・ デバイス 工学		物性工学特別講義	選択	2	1	
			電子デバイス工学特別講義	選択	2	1	
			プラズマ工学特別講義	選択	2	1	
			先進電磁波動工学特別講義	選択	2	1	
			先進電磁材料工学特別講義	選択	2	1	
	論文指導科目		電気工学特別研究 1	必修	2	1	
			電気工学特別研究 2	必修	2	1	
			電気工学特別研究 3	必修	2	2	
			電気工学特別研究 4	必修	2	2	
			電気工学特別研究 5	必修	2	3	
			電気工学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20単位以上（必修：14単位、選択：6単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1. 論文指導科目「電気工学特別研究 1～6」（必修）を含む20単位の修得が必要。
- ※2. 「電気工学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に3年間で履修すること。
- ※3. 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

環境システム学専攻《博士前期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	共通科目	環境システム学総論	必修	2	1	○	
			環境統計解析	選択	2	1	○	
			地球環境科学	選択	2	1	○	
			総合学外実習	選択	2	1		
		基盤科目 (環境情報系)	都市システム総論	選択	2	1	○	
			大気科学特論	選択	2	1	○	
		基盤科目 (環境技術系)	環境化学特論	選択	2	1	○	
			微生物学特論	選択	2	1	○	
		専門科目 (環境情報系)	都市環境計画特論	選択	2	1	○	
			都市環境計画演習	選択	2	1	○	
			環境評価特論	選択	2	1	○	
			環境評価演習	選択	2	1	○	
			気象・熱環境学特論	選択	2	1	○	
			気象・熱環境学演習・実験	選択	2	1	○	
			大気環境解析特論	選択	2	1	○	
			大気環境解析演習・実験	選択	2	1	○	
		専門科目 (環境技術系)	水環境・バイオプロセス特論	選択	2	1	○	
			水環境・バイオプロセス演習・実験	選択	2	1	○	
			廃棄物管理・循環資源化特論	選択	2	1	○	
			廃棄物管理演習・実験	選択	2	1	○	
			環境微生物学特論	選択	2	1	○	
			環境微生物演習・実験	選択	2	1	○	
			環境機器分析特論	選択	2	1	○	
			環境機器分析演習・実験	選択	2	1	○	
			環境バイオマテリアル特論	選択	2	1	○	
			環境バイオマテリアル演習・実験	選択	2	1	○	
	論文指導科目	環境システム学研究 1	必修	2	1			
		環境システム学研究 2	必修	2	1			
環境システム学研究 3		必修	2	2				
環境システム学研究 4		必修	2	2				

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：10 単位、選択：20 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 共通科目の「環境システム学総論」（必修）、論文指導科目「環境システム学研究 1～4」を含む 30 単位の修得が必要。
- ※ 2. 「環境システム学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- ※ 3. 専修免許状取得希望の学生は「○」が付記されている免許科目より、24 単位分を修得すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

環境システム学専攻《博士後期課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	共通科目	総合学外実習（後期課程）	選択	2	1	
		専門科目 （環境情報系）	都市環境計画特別講義	選択	2	1	
			環境評価特別講義	選択	2	1	
			気象・熱環境学特別講義	選択	2	1	
			大気環境解析特別講義	選択	2	1	
			水環境・バイオプロセス特別講義	選択	2	1	
		専門科目 （環境技術系）	資源廃棄物学特別講義	選択	2	1	
			環境微生物学特別講義	選択	2	1	
			環境機器分析特別講義	選択	2	1	
			環境材料学特別講義	選択	2	1	
		論文指導科目	環境システム学特別研究 1	必修	2	1	
			環境システム学特別研究 2	必修	2	1	
			環境システム学特別研究 3	必修	2	2	
			環境システム学特別研究 4	必修	2	2	
			環境システム学特別研究 5	必修	2	3	
			環境システム学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位以上（必修：12 単位、選択：8 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 論文指導科目「環境システム学特別研究 1～6（必修）」を含む 20 単位の修得が必要。
- ※ 2. 「環境システム学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

国際コミュニケーション専攻《博士前期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	研究科目	研究方法特別講義 A	必修	2	1		
		研究方法特別講義 B	必修	2	1		
		日本語・日本事情特別講義 A	選択	2	1		
		日本語・日本事情特別講義 B	選択	2	1		
		コミュニケーション研究 1 A (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 1 B (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 1 C (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 1 D (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 2 A (メディア研究)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 2 B (メディア研究)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 2 C (メディア研究)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 2 D (メディア研究)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 3 A (ディスコース分析)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 3 B (ディスコース分析)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 3 C (ディスコース分析)	選択	2	1	○	
		コミュニケーション研究 3 D (ディスコース分析)	選択	2	1	○	
		言語学研究 1 A (英語学)	選択	2	1	○	
		言語学研究 1 B (英語学)	選択	2	1	○	
		言語学研究 1 C (英語学)	選択	2	1	○	
		言語学研究 1 D (英語学)	選択	2	1	○	
		言語学研究 2 A (英語教育)	選択	2	1	○	
		言語学研究 2 B (英語教育)	選択	2	1	○	
		言語学研究 2 C (英語教育)	選択	2	1	○	
		言語学研究 2 D (英語教育)	選択	2	1	○	
		言語学研究 3 A (日中対照言語学)	選択	2	1		
		言語学研究 3 B (日中対照言語学)	選択	2	1		
		言語学研究 3 C (日中対照言語学)	選択	2	1		
		言語学研究 3 D (日中対照言語学)	選択	2	1		
		文化研究 1 A (英米文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 1 B (英米文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 1 C (英米文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 1 D (英米文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 2 A (比較文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 2 B (比較文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 2 C (比較文化研究)	選択	2	1	○	
		文化研究 2 D (比較文化研究)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 1 A (国際関係)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 1 B (国際関係)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 1 C (国際関係)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 1 D (国際関係)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 2 A (異文化理解)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 2 B (異文化理解)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 2 C (異文化理解)	選択	2	1	○	
		国際社会研究 2 D (異文化理解)	選択	2	1	○	

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻 科目	論文 指導 科目	博士前期研究指導 1 A	必修	2	1		
		博士前期研究指導 1 B	必修	2	1		
		博士前期研究指導 2 A	必修	2	2		
		博士前期研究指導 2 B	必修	2	2		

修了に必要な単位数
3 0 単位以上（必修科目：1 2 単位、選択科目：1 8 単位以上）

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

国際コミュニケーション専攻《博士後期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	特殊研究科目	コミュニケーション特殊研究1 A (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	
		コミュニケーション特殊研究1 B (ビジネスコミュニケーション)	選択	2	1	
		コミュニケーション特殊研究2 A (メディア研究)	選択	2	1	
		コミュニケーション特殊研究2 B (メディア研究)	選択	2	1	
		言語学特殊研究1 A (英語学)	選択	2	1	
		言語学特殊研究1 B (英語学)	選択	2	1	
		言語学特殊研究2 A (英語教育)	選択	2	1	
		言語学特殊研究2 B (英語教育)	選択	2	1	
		言語学特殊研究3 A (日中対照言語学)	選択	2	1	
		言語学特殊研究3 B (日中対照言語学)	選択	2	1	
		文化特殊研究1 A (英米文化研究)	選択	2	1	
		文化特殊研究1 B (英米文化研究)	選択	2	1	
		文化特殊研究2 A (比較文化研究)	選択	2	1	
		文化特殊研究2 B (比較文化研究)	選択	2	1	
		国際社会特殊研究1 A (国際関係)	選択	2	1	
		国際社会特殊研究1 B (国際関係)	選択	2	1	
		国際社会特殊研究2 A (異文化理解)	選択	2	1	
		国際社会特殊研究2 B (異文化理解)	選択	2	1	
	論文指導科目	博士後期研究指導1 A	必修	2	1	
		博士後期研究指導1 B	必修	2	1	
		博士後期研究指導2 A	必修	2	2	
		博士後期研究指導2 B	必修	2	2	
		博士後期研究指導3 A	必修	2	3	
		博士後期研究指導3 B	必修	2	3	

修了に必要な単位数

20単位以上（必修科目：12単位、選択科目：8単位以上）

情報学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

情報学専攻《博士前期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考
専攻科目	講義科目	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		コンピュータアーキテクチャ演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		情報ネットワーク特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		情報ネットワーク演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		ネットワークソフトウェア特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		ネットワークソフトウェア演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		応用ネットワーク特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		応用ネットワーク演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		計算科学特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		計算科学演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		数物情報特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		数物情報演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		組合せデザイン論Ⅰ	選択	2	1	○	
		組合せデザイン論演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		プログラミング言語Ⅰ	選択	2	1	○	
		プログラミング言語演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		情報システム設計論Ⅰ	選択	2	1	○	
		情報システム設計演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		計算言語学Ⅰ	選択	2	1	○	
		計算言語学演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		画像情報処理Ⅰ	選択	2	1	○	
		画像情報処理演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		ヒューマンコンピュータインタラクションⅠ	選択	2	1	○	
		ヒューマンコンピュータインタラクション演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		イメージ情報学論Ⅰ	選択	2	1	○	
		イメージ情報学演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		情報音楽特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		情報音楽特論演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		生体情報工学論Ⅰ	選択	2	1	○	
		生体情報工学演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		知能メディア処理特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		知能メディア処理演習Ⅰ	選択	1	1	○	
		データ解析特論Ⅰ	選択	2	1	○	
		データ解析演習Ⅰ	選択	1	1	○	
	論文指導科目	情報学特別輪講Ⅰ	必修	2	1		※1
		情報学特別演習Ⅰ	必修	4	1		※1
		情報学特別実験Ⅰ	必修	6	2		※1

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30単位以上（必修：12単位、選択：18単位以上）

○履修上の注意事項

※1. 論文指導科目「情報学特別輪講Ⅰ」「情報学特別演習Ⅰ」「情報学特別実験Ⅰ」は、配当学年に従って順次履修すること。また、研究指導教員の科目を履修すること。

情報学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

情報学専攻《博士後期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	講義科目	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	選択	2	1	
		コンピュータアーキテクチャ演習Ⅱ	選択	1	1	
		組合せデザイン論Ⅱ	選択	2	1	
		組合せデザイン論演習Ⅱ	選択	1	1	
		計算言語学Ⅱ	選択	2	1	
		計算言語学演習Ⅱ	選択	1	1	
		ヒューマンコンピュータインタラクションⅡ	選択	2	1	
		ヒューマンコンピュータインタラクション演習Ⅱ	選択	1	1	
		生体情報工学論Ⅱ	選択	2	1	
		生体情報工学演習Ⅱ	選択	1	1	
		知能メディア処理特論Ⅱ	選択	2	1	
		知能メディア処理演習Ⅱ	選択	1	1	
		情報教育システム特論	選択	2	1	
		情報教育システム演習	選択	1	1	
		イメージ情報学特論Ⅱ	選択	2	1	
		イメージ情報学演習Ⅱ	選択	1	1	
		情報システム設計論Ⅱ	選択	2	1	
		情報システム設計演習Ⅱ	選択	1	1	
		データ解析特論Ⅱ	選択	2	1	
		データ解析演習Ⅱ	選択	1	1	
		情報ネットワーク特論Ⅱ	選択	2	1	
		情報ネットワーク演習Ⅱ	選択	1	1	
	論文指導科目	情報学特別輪講Ⅱ	必修	2	1	※ 2
		情報学特別演習Ⅱ	必修	4	2	※ 2
		情報学特別実験Ⅱ	必修	6	3	※ 2

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20単位以上（必修：12単位、選択：8単位以上）

○履修上の注意事項

※ 2. 論文指導科目「情報学特別輪講Ⅱ」「情報学特別演習Ⅱ」「情報学特別実験Ⅱ」は、配当学年に従って順次履修すること。また、研究指導教員の科目を履修すること。

経済学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

応用経済学専攻《修士課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	各コースの推奨科目			修了要件 (必要単位 数)	
						経済 専門	企業 マネジ メント	会計 ・ 税務		
専攻科目	研究科目	マクロ経済学	選択必	2	1	○	○	○	4 単位	22 単位
		ミクロ経済学	選択必	2	1	○	○	○		
		計量経済学	選択必	2	1	○	○	○		
		経済経営データ分析	選択必	2	1	○	○	○		
		租税法	選択必	2	1	○	○	○		
		経済数理分析	選択	2	1	○				
		応用マクロ経済学	選択	2	1	○				
		応用ミクロ経済学	選択	2	1	○	○			
		応用計量経済学	選択	2	1	○				
		経済政策論	選択	2	1	○				
		サーチ理論	選択	2	1	○				
		公共経済学	選択	2	1	○				
		都市経済学	選択	2	1	○				
		国際金融理論	選択	2	1	○				
		国際金融市場論	選択	2	1	○				
		金融経済論	選択	2	1	○				
		応用金融経済論	選択	2	1	○				
		環境経済学	選択	2	1		○			
		環境政策論	選択	2	1		○			
		流通経済論	選択	2	1		○			
		地方財政論	選択	2	1	○	○			
		ベンチャー企業論	選択	2	1		○			
		労働経済学	選択	2	1	○	○			
		現代社会政策論	選択	2	1		○			
		租税法特論	選択	2	1			○		
		国際租税法	選択	2	1			○		
		国際租税法特殊研究	選択	2	1			○		
		リーガルリサーチ	選択	2	1			○		
		財務諸表論	選択	2	1			○		
		税務会計論	選択	2	1			○		
	消費税法	選択	2	1			○			
	国税通則法	選択	2	1			○			
	所得税法	選択	2	1			○			
	相続税法	選択	2	1			○			
	マーケティング論	選択	2	1		○	○			
	会計学	選択	2	1		○	○			
租税実務特別講座（寄附講座）	選択	2	2			○				
論文指導 科目	応用経済学演習 1 a	必修	2	1	○	○	○	8 単位		
	応用経済学演習 1 b	必修	2	1	○	○	○			
	応用経済学演習 2 a	必修	2	2	○	○	○			
	応用経済学演習 2 b	必修	2	2	○	○	○			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択必修：4 単位以上）

○履修上の注意事項

※ 1. 研究指導教員の科目を順次履修すること。

教育学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

教育学専攻《博士前期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	教育学文献研究 1A (西洋教育史)	選択	2	1	
		教育学文献研究 2A (西洋教育史)	選択	2	1	
		教育学文献研究 1B (日本教育史)	選択	2	1	
		教育学文献研究 2B (日本教育史)	選択	2	1	
		教育学文献研究 1C (教育思想)	選択	2	1	
		教育学文献研究 2C (教育思想)	選択	2	1	
		教育学調査研究 A (教育職)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1B (教育方法)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2B (教育方法)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1C (教育課程)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2C (教育課程)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1D (教育心理)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2D (教育心理)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1E (教育行財政)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2E (教育行財政)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1F (教育相談)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2F (教育相談)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1G (臨床教育)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2G (臨床教育)	選択	2	1	
		教育学調査研究 1H (生涯学習)	選択	2	1	
		教育学調査研究 2H (生涯学習)	選択	2	1	
		幼児教育学研究 1A (保育課程・指導法)	選択	2	1	
		幼児教育学研究 2A (保育課程・指導法)	選択	2	1	
		幼児教育学研究 1B (保育内容)	選択	2	1	
		幼児教育学研究 2B (保育内容)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 1A (障害児者教育理論)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 2A (障害児者教育理論)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 1B (障害児者発達・心理)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 2B (障害児者発達・心理)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 1C (障害児者教育課程)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 2C (障害児者教育課程)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 D (知的障害児者教育方法)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 E (肢体不自由児者教育方	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 F (病弱児者教育方法)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 G (発達障害児者教育方法)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 1H (発達障害)	選択	2	1	
		障害児者教育学研究 2H (発達障害の病理)	選択	2	1	
		教科教育学研究 1A (国語科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 2A (国語科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 1B (社会科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 2B (社会科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 1C (数学科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 2C (数学科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 1D (理科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 2D (理科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 1E (音楽科教育)	選択	2	1	
		教科教育学研究 2E (音楽科教育)	選択	2	1	

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	教科教育学研究 1F（美術科教育）	選択	2	1	
		教科教育学研究 2F（美術科教育）	選択	2	1	
		教科教育学研究 1G（保健体育科教育）	選択	2	1	
		教科教育学研究 2G（保健体育科教育）	選択	2	1	
		教科教育学研究 1H（英語科教育）	選択	2	1	
		教科教育学研究 2H（英語科教育）	選択	2	1	
	論文指導 科目	教育学演習Ⅰ	必修	4	1	
		教育学演習Ⅱ	必修	4	2	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30単位以上（必修：8単位、選択：22単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1．教育職員免許状の種類によって履修する科目が異なります。詳しくは「12-7．教育職員免許状を取得するためには」を参照してください。
- ※2．研究指導教員の科目を順次履修すること。

教育学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

教育学専攻《博士後期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	教育学文献特殊研究 1A（西洋教育史）	選択	2	1	
		教育学文献特殊研究 2A（西洋教育史）	選択	2	1	
		教育学文献特殊研究 1B（日本教育史）	選択	2	1	
		教育学文献特殊研究 2B（日本教育史）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 1A（教育課程）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 2A（教育課程）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 1B（教育心理）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 2B（教育心理）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 1C（教育行財政）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 2C（教育行財政）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 1D（臨床教育）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 2D（臨床教育）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 1E（生涯教育）	選択	2	1	
		教育学調査特殊研究 2E（生涯教育）	選択	2	1	
		幼児教育学特殊研究 1	選択	2	1	
		幼児教育学特殊研究 2	選択	2	1	
		障害児者教育学特殊研究 1	選択	2	1	
		障害児者教育学特殊研究 2	選択	2	1	
		教科教育学特殊研究 1	選択	2	1	
		教科教育学特殊研究 2	選択	2	1	
	論文指導科目	教育学特殊演習Ⅰ	必修	4	1	
		教育学特殊演習Ⅱ	必修	4	2	
		教育学特殊演習Ⅲ	必修	4	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20単位以上（必修：12単位、選択：8単位以上）

○履修上の注意事項

- ※1. 論文指導科目「教育学特殊演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（必修）を含む20単位以上の修得が必要。
- ※2. 研究指導教員の科目を順次履修すること。

心理学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

心理学専攻《博士前期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	心理統計法特論	選択	2	1	
		学習心理学特論	選択	2	1	
		認知心理学特論	選択	2	1	
		神経心理学特論	選択	2	1	
		社会病理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1	
		精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1	
		障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1	
		学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1	
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に 関する理論と実践	選択	2	1	
		臨床心理面接特論 A (心理支援に関する理論と実践)	選択	2	1	
		臨床心理学特論 A	選択	2	1	臨床心理学コースのみで開講
		心理療法特論	選択	2	1	
		臨床心理査定演習 A (心理的アセスメントに関する理論と実践)	選択	2	1	
		心理学研究法特論	選択	2	1	
		知覚心理学特論	選択	2	1	
		発達心理学特論	選択	2	1	
		社会心理学特論	選択	2	1	
		産業・組織心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1	
		発達臨床心理学特論	選択	2	1	
		心の健康教育に関する理論と実践	選択	2	1	
		臨床心理学特論 B	選択	2	1	臨床心理学コースのみで開講
		臨床心理面接特論 B	選択	2	1	
		臨床心理査定演習 B	選択	2	1	
		学術成果公表演習	選択	2	1	
		投影法特論	選択	2	2	臨床心理学コースのみで開講
	実習科目	心理実践実習 1	選択	2	1	実習 90 時間
		心理実践実習 2	選択	2	1	
		心理実践実習 3	選択	2	1	
		心理実践実習 4	選択	2	2	
		心理実践実習 5	選択	2	2	
		臨床心理基礎実習 A	選択	1	1	臨床心理学コースのみで開講
		臨床心理基礎実習 B	選択	1	1	
		臨床心理実習 A	選択	1	2	
		臨床心理実習 B	選択	1	2	

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	論文指導科目	心理学研究指導 1 A	必修	2	1	
		心理学研究指導 1 B	必修	2	1	
		心理学研究指導 2 A	必修	2	2	
		心理学研究指導 2 B	必修	2	2	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：8 単位、選択：22 単位以上）
- 履修上の注意
博士前期課程の学生は、論文指導科目「心理学研究指導 1 A、1 B、2 A、2 B」（必修）を含む 30 単位を修得すること。

心理学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

心理学専攻《博士後期課程》

科目区分		2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	特殊研究科目	学術成果公表特殊演習	必修	2	1	
		学習心理学特殊研究	選択	2	1	
		認知心理学特殊研究	選択	2	1	
		神経心理学特殊研究	選択	2	1	
		障害児心理学特殊研究	選択	2	1	
		学校臨床心理学特殊研究	選択	2	1	
		臨床心理学特殊研究	選択	2	1	
		臨床心理面接特殊研究	選択	2	1	
		知覚心理学特殊研究	選択	2	1	
		発達心理学特殊研究	選択	2	1	
		社会心理学特殊研究	選択	2	1	
		発達臨床心理学特殊研究	選択	2	1	
		応用心理学特殊研究	選択	2	1	
	論文指導科目	心理学特殊研究指導 1 A	必修	2	1	
		心理学特殊研究指導 1 B	必修	2	1	
		心理学特殊研究指導 2 A	必修	2	2	
		心理学特殊研究指導 2 B	必修	2	2	
		心理学特殊研究指導 3 A	必修	2	3	
		心理学特殊研究指導 3 B	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20単位以上（必修：14単位、選択：6単位以上）

○履修上の注意

博士後期課程の学生は、特殊研究科目「学術成果公表特殊演習」（必修）、および論文指導科目「心理学特殊研究指導 1A、1B、2A、2B、3A、3B」（必修）を含む20単位を修得すること。

建築学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

建築学専攻《修士課程》

科目区分			2025 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	研究科目	専門・応 用科目	建築意匠特論	選択	2	1	
			建築史特論	選択	2	1	
			建築計画特論	選択	2	1	
			建築設計特論	選択	2	1	
			住宅デザイン特論	選択	2	1	
			建築・都市政策特論	選択	2	1	
			都市計画特論	選択	2	1	
			防災工学特論	選択	2	1	
			建築構造特論	選択	2	1	
			構造デザイン特論	選択	2	1	
			地震工学特論	選択	2	1	
			解析学特論	選択	2	1	
			建築環境特論	選択	2	1	
			建築設備特論	選択	2	1	
			住環境特論	選択	2	1	
			地盤工学特論	選択	2	1	
			建築生産特論	選択	2	1	
		演習・実 験科目	建築意匠演習	選択	2	1	
			建築史演習	選択	2	1	
			建築計画演習	選択	2	1	
			建築設計演習	選択	2	1	
			住宅デザイン演習	選択	2	1	
			建築・都市政策演習	選択	2	1	
			都市計画演習	選択	2	1	
			防災工学演習	選択	2	1	
			建築構造演習・実験	選択	2	1	
			構造デザイン演習	選択	2	1	
			地震工学演習・実験	選択	2	1	
	論文指 導科目	解析学演習	選択	2	1		
		建築環境演習	選択	2	1		
		建築設備演習	選択	2	1		
		住環境演習	選択	2	1		
		地盤工学演習・実験	選択	2	1		
		建築生産演習・実験	選択	2	1		
		建築学研究 1	必修	2	1		
	建築学研究 2	必修	2	1			
	建築学研究 3	必修	4	2			
	建築学研究 4	必修	4	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位以上（必修：12 単位、選択：18 単位以上）

○履修上の注意事項

- ※ 1. 論文指導科目「建築学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※ 2. 研究科目の科目区分「専門・応用科目」、「演習・実験科目」より選択して 18 単位以上修得すること。
- ※ 3. 「建築学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に履修すること。